

平成24年第 1 回定例会会議録

四市複合事務組合議会

平成24年四市複合事務組合議会第1回定例会会議録

◎議事日程

平成24年2月15日（水）

午後2時開議

諸般の報告（議案の送付、出席通知）

管理者の招集あいさつ

第1 会期決定の件

第2 議案第1号 平成24年度四市複合事務組合予算

第3 議案第2号 平成23年度四市複合事務組合補正予算

第4 議案第3号 公平委員会委員選任の同意を求めることについて

第5 会議録署名議員の指名

.....

◎本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午後2時2分開会

○議長（横山博美議員） 出席議員数が定足数に達しておりますので、ただいまから、平成24年四市複合事務組合議会第1回定例会を開会いたします。

○議長（横山博美議員） これより会議を開きます。
議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

○議長（横山博美議員） この際、諸般の報告をいたします。

報告事項は、お手元に配付したとおりであります。

[諸般の報告は巻末に掲載]

○議長（横山博美議員） ここで、管理者から、定例会招集のあいさつがあります。

○管理者（藤代孝七市長） 本日は、皆様方には大変お忙しい中ご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。

また、日ごろから本組合事業に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、本日ここに、平成24年四市複合事務組合議会第1回定例会を招集いたしましてご審議をお願いする案件は3件でございます。

まず、議案第1号、平成24年度予算につきましては、組合の運営経費を含め、特別養護老人ホーム三山園及び斎場の事業に要する経費を計上したものでございます。三山園事業におきましては、介護保険法に基づく事業所として、利用者に質の高い介護サービスを提供するとともに効率的な経営に努めてまいり所存であります。また、斎場事業におきましては、馬込斎場を運営する経費とともに、第2斎場整備事業に係る経費となります。両事業をあわせました平成24年度予算総額といたしましては12億881万円を計上いたしました。なお、構成各市財政状況は厳しいとは存じますが、分賦金につきましては、三山園関係で1億1,669万5,000円、斎場関係で3億9,120万2,000円のご負担をお願いするものでございます。

次に、議案第2号の平成23年度補正予算につしまし

ては、第2 斎場整備事業にかかわるものであります。当初、建設地の埋蔵文化財発掘調査及び周辺環境影響評価に関する調査費用等を委託料として計上していましたが、依然として建設地周辺の方々のご理解が得られていない状況にありますことから、本年度の執行を見合わせ、減額補正するものであります。また、周辺環境影響評価に関する調査業務委託として定めておりました債務負担行為につきましても、減額補正に伴いこれを廃止し、平成24年度において改めて設定のお願いをするものでございます。

第2 斎場整備事業につきましては、平成20年11月に建設地を決定して以来、早期着工を目指して八千代市とともに地元との合意形成を図るべく努めておりますが、依然として地元との話し合いが進まない状況が続いております。斎場は、建設地域から特に強い反対を受ける施設ではありますが、構成市の市民生活にとっては、なくてはならない大変重要な施設であります。組合といたしましては、地元八千代市からより一層のご尽力をいただきながら、事業の早期進展に向けて鋭意努力してまいりますので、組合議会並びに構成市の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、議案第3号につきましては、公平委員会委員の任期満了に伴う選任についての同意をお願いするものであります。

これらの内容につきましては、後ほど説明させていただきますが、ご審議の上、ご協賛賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます、定例会招集のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（横山博美議員） これより日程に入ります。

日程第1、会期決定の件を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日1日としたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日1日と決しました。

○議長（横山博美議員） 次に、日程第2、議案第1号平成24年度四市複合事務組合予算を議題とします。

〔議案第1号は巻末に掲載〕

○議長（横山博美議員） 提出者から提案説明を求めます。

事務局長。

○事務局長（川崎和信） それでは、議案第1号平成24年度四市複合事務組合予算につきましてご説明いたします。

お手元の平成24年度予算書の3ページをお開きください。

平成24年度の本組合の予算総額は、第1条にありますとおり、歳入歳出それぞれ12億881万円を計上いたしました。これは平成23年度当初予算に対しまして2,794万円の減額となり、率にいたしますと2.3%の減少となります。

次に、第2条の債務負担行為であります。地方自治法第214条の規定により、債務を負担することができる事項、期間及び限度額を7ページにあります第2表債務負担行為として定めるものであります。これは議案第2号の平成23年度四市複合事務組合補正予算に伴うもので、第2 斎場整備事業に係る周辺環境影響評価調査業務委託について平成23年度からの実施を見合わせざるを得ないことから、改めて設定させていただくものです。

次に、第3条の一時借入金であります。地方自治法第235条の3第2項の規定により、一時借入金の借入れ最高額を1億円と定めるものでございます。

続きまして、予算の概要につきましては、歳入歳出予算事項別明細書に沿って、初めに歳出からご説明をさせていただきます。予算書の17ページをお開き願います。

まず、1款議会費であります。議員報酬及び組合議会運営に要する経費といたしまして219万4,000円を計上いたしました。

次に、2款総務費は18ページから20ページになりますが、特別職及び事務局職員の人件費、また、組合運営経費などといたしまして8,002万6,000円を計上いたしました。平成23年度との比較では3,177万4,000円の

減額となりますが、この主な理由といたしましては、事務職員の定年退職に伴う退職手当の計上がなかったことなどにより人件費が減額となるものでございます。

次に、3款民生費は20ページから22ページになりますが、特別養護老人ホーム三山園の管理運営に要する経費でございます。

1目老人福祉総務費は、主に三山園職員の人件費などで3億5,080万9,000円を計上いたしました。

2目老人福祉施設費は、三山園入所者の生活と介護に加えて通所サービス事業に要する経費及び施設の維持管理費などとして1億4,854万4,000円を計上いたしました。

民生費の総額といたしましては4億9,935万3,000円の計上となり、平成23年度との比較では343万円の減額となります。この主な理由といたしましては、送迎用自動車の買い換え費の計上がなかったことなどによるものでございます。

次に、4款衛生費は23ページから27ページとなります。馬込斎場の管理運営及び第2斎場整備に要する経費でございます。

1目斎場総務費は、主に斎場職員の人件費などの経費でありまして、1億4,333万2,000円を計上いたしました。

2目斎場施設費は、斎場施設の維持管理に要する経費で、毎年実施している火葬炉内部の補修工事費及び火葬炉の燃料費などの経費でございまして、2億2,971万7,000円を計上いたしました。

3目第2斎場整備費につきましては、第2斎場担当職員の人件費のほか、埋蔵文化財の発掘や環境影響評価の調査委託料などとして1億1,045万2,000円を計上いたしました。

なお、委託料の関係につきましては、後ほど議案第2号でもご説明させていただきますが、依然として地元の方々のご理解が得られない状況下で今年度の執行は難しいと判断し、23年度予算の減額補正を行い、改めて同額を計上させていただくものでございます。

このようなことから、衛生費の総額といたしましては4億8,350万1,000円の計上となり、平成23年度との

比較では399万円の増額となります。この主な理由といたしましては、馬込斎場施設での大規模な改修工事費は減少したものの、馬込斎場職員1人の定年退職に伴う退職手当及び火葬炉等燃料費の増額を計上しましたことによるものでございます。

なお、ここで第2斎場整備事業の状況についてご説明させていただきます。本事業につきましては、地元の方々のご理解を得るための努力を続けているところでございますが、昨年8月に開催いたしました近隣の2つの自治会を対象とした説明会以降、さらなる説明会や意見交換の場を求めて働きかけ等の努力をしていますが、その機会が得られない状況が続いておりました。この間、組合といたしましては、地元へ足を運ぶ中で一部の方から個別にお話を伺うなど、地域の状況把握などに努めてきたところであり、その中には一定のご理解をいただけるようなご意見なども伺ってまいりました。

このような状況の中で、昨年12月に地元八千代市から説明会開催の意向が示されましたことから、調整した結果、本日午後6時から、建設予定地周辺にお住まいの方や地権者の方を中心とする説明会を八千代市長さんご出席のもとで開催する運びとなっております。これまでの説明会にあっては、建設反対のご意見に支配される状況ではありますが、今回は一人でも多くの方との対話が持て、幅広く意見をお聞きすることができるよう努力してまいりたいと考えております。

地元との合意形成を図るには依然として厳しい状況にはありますが、早期着工には引き続き誠意を持って地域の方々との対話を重ねていくことが大切であるとと考えております。関係市の皆様方には大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますが、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上、第2斎場整備事業の現況説明とさせていただきます。

引き続き予算の説明に戻させていただきます。27ページをごらんください。

5款公債費は、三山園の建替事業及び斎場の火葬炉増設等事業に際して借り入れた組合債の元金及び利子

の償還金などとして1億398万4,000円を計上しております。

最後に6款予備費でございますが、3,975万2,000円を計上いたしました。

以上が歳出予算の概要でございます。

続きまして、歳入予算についてご説明いたします。恐れ入りますが、予算書の13ページにお戻りいただきたいと存じます。

1款分担金及び負担金でございますが、三山園に係ります1目民生費負担金としては、施設利用負担金や関係市分賦金として5億8,071万6,000円を見込んでおります。平成23年度との比較では986万6,000円の減額となります。

斎場にかかわります2目衛生費負担金は、関係市分賦金として3億9,120万2,000円を見込みました。平成23年度との比較では512万8,000円の減額となります。

分担金及び負担金の総額は9億7,191万8,000円となり、平成23年度との比較では1,499万4,000円の減額となります。この主な理由といたしましては、事務職員の定年退職に伴う退職手当の財源としての関係市分賦金と、馬込斎場施設での大規模改修工事の減少に伴う財源としての関係市分賦金が減少したことによるものでございます。

次に、14ページ、2款使用料及び手数料でございますが、斎場施設使用料など1億2,699万7,000円を見込みました。平成23年度との比較では391万7,000円の増額となります。この主な理由といたしましては、斎場事業において、火葬件数、遺体保管室使用件数及び霊柩車の運行件数の増加が見込まれることによるものでございます。

次に、15ページの5款繰入金は、三山園の生活相談員及び斎場の受付業務職員の定年退職に伴います退職手当の財源として、退職手当基金からの繰り入れで2,673万円を見込んでおります。

次に、6款繰越金は、平成23年度から平成24年度へ繰り越される歳入歳出決算見込み額を計上したもので、平成23年度と比較して1,220万3,000円少ない7,772万2,000円を見込んでおります。

最後となりますが、16ページの7款諸収入は斎場の

納骨容器等売払収入が主なもので、541万4,000円を見込みました。

以上が平成24年度歳入歳出予算の概要であります。四市複合事務組合事業の円滑な推進を図るため必要な経費を計上しております。何とぞご審議の上、ご協賛賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

.....
○議長（横山博美議員） これより質疑に入ります。

なお、質疑の際は、内容によりましては、予算書のページなどを添えていただくとわかりやすいと思いますので、よろしく願いいたします。

質疑ありませんか。

中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 若干伺っていきたいと思います。予算書の20ページの老人福祉総務費についてなんですが、三山園の職員の人件費が主な中身ということですが、規定の人員は充足されていますでしょうか。

○議長（横山博美議員） 管理次長。

○管理次長（湯浅孝雄） 特養三山園の職員数については、指定介護老人福祉施設、特別養護老人ホーム三山園運営規程で55人と定められております。内訳は、園長1人、医師6人、介護支援専門員または生活相談員2人、看護職員6人、介護職員34人、栄養士1人、機能訓練指導員2人、その他職員3人となっております。なお、医師については嘱託での対応が可能ということで、協力病院である済生会病院に依頼していることから、この医師6人を除くと三山園の職員定数は49人となります。現在の職員数ですが、園長1人、介護支援専門員または生活相談員3人、看護職員5人、介護職員21人、栄養士1人、機能訓練指導員2人、その他職員3人で、合計で36人となります。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 看護職員が1人と、介護職員のほうはかなり足りてないようなんですけれども、まず看護職員のほうなんです、今年度は年度当初何人でスタートしたのか、その後どんな推移だったのか教

えてください。

○議長（横山博美議員） 三山園長。

○三山園長（滝口統弘） 看護職員の配置につきましては、三山園運営規程によって6人の配置ということになっておりますけれども、平成22年4月1日においては5人を配置しておりました。そのうち、5月末日付で1人が退職したため、新たに7月に1人を採用して5人を配置いたしました。その後、1人が9月に退職となり4人の配置となりましたが、看護体制を整えるということで、平成22年10月から23年7月までの間に採用試験を4回実施いたしましたけれども、応募者がなかったことや、あるいは合格後の辞退がある中で、10月に1人を採用して5人体制となっております。現在不足の1人の採用につきましては、平成24年1月に採用試験を実施いたしましたけれども、合格はされたんですけども、辞退ということになりましたので、来月3月16日に看護師1名の採用試験を実施する予定であります。なお、職員不足につきましては、非常勤の看護職員での対応を第一に考えて、また、応募がない場合は人材派遣で対応してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢議員。

○4番（中沢学議員） 応募者がなかったときもあったということなんですけれども、これは受験者がゼロだったということですか。何月の試験でしょうか。

○議長（横山博美議員） 三山園長。

○三山園長（滝口統弘） まず、試験の経過を申し上げますと、平成22年から言いますと、4月9日に採用試験を1人やりまして、応募者が4人いましたけれども、合格者が1名。それで5人を確保したんですけども、5月の1人退職ということで、6月1日付では4名となりました。さらに、4月の試験の合格者が1名ございましたので、7月1日現在では5名。その後、9月末日付での1人退職ということで、10月1日には4名。10月25日に2人採用の試験を実施して応募者が1名いたんですけども、合格後の辞退が発生したと。その後、平成22年12月4日に再度2人採用試験を実施したところ、応募者がゼロだったということで、24年1月までに6回の試験をやりまして、トータルで現在在職

者が5名ということで、3月に不足分の1人採用の試験を実施する予定でございます。

以上です。

○議長（横山博美議員） 中沢議員。

○4番（中沢学議員） なかなか応募者が集まらない要因というのは何なんでしょうか。

○議長（横山博美議員） 三山園長。

○三山園長（滝口統弘） 応募があつて当日キャンセルの方もいるんですけども、合格しての辞退者につきましては、理由は、病院等でお勤めの方もおりますので、前職場の強い引きとめがあるということは聞いております。

それから、職場見学で三山園等を見学されておりますけれども、ご本人さんが看護師経験が不足しているということの不安がありまして、病院看護ですと当然ドクターがおつて指示を入れてくれるということではありますが、三山園におきましては、病院看護というよりも老人介護でございますので、夜勤等については看護師自身が判断するということの不安感から辞退という状況になっておるのを聞いております。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢議員。

○4番（中沢学議員） 年齢要件というのはどうなっているんでしょうか。ことしの募集なんかはどういうふうになっているんでしょうか。

○議長（横山博美議員） 事務局長。

○事務局長（川崎和信） 看護師ですので、資格取得が条件になりまして、年齢要件につきましては、上限の年齢といたしましては59歳までということでやっております。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢議員。

○4番（中沢学議員） ここは今年度を通じて、そういう要件でやられているということでしょうか。

○議長（横山博美議員） 事務局長。

○事務局長（川崎和信） その予定にしております。

○議長（横山博美議員） 中沢議員。

○4番（中沢学議員） 予定というのか、今年度の実績も含めて、そういう要件ということでしょうか。

○事務局長（川崎和信）　そうでございます。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　7月に試験をやったときに7人の受験者があったというのを事前に伺ったんですけども、そういうことでよろしいんでしょうか。

○議長（横山博美議員）　事務局長。

○事務局長（川崎和信）　間違いございません。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　2人合格を出して1人がキャンセルしたというお話でしたけれども、そういうことでよろしいんでしょうか。

○議長（横山博美議員）　事務局長。

○事務局長（川崎和信）　間違いございません。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　7人応募されたということなんですけれども、合格を出さなかった5人というのは、その合格の水準まで達してなかったということでしょうか。

○議長（横山博美議員）　事務局長。

○事務局長（川崎和信）　そういうことでございます。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　この間不足している状態が続いているんですけども、その部分、全く業務がされない、サービスが行われないということになっているんでしょうか。

○議長（横山博美議員）　事務局長。

○事務局長（川崎和信）　これにつきましては、先ほど園長のほうから説明がありましたように、非常勤はなかなか難しいんですが、派遣等の職員を採用しまして対応しております。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　今、派遣で来てもらっている人に、うちで働きませんかと直接雇用の申し入れのようなことはやられてないんでしょうか。

○議長（横山博美議員）　事務局長。

○事務局長（川崎和信）　過去にそういったご相談をさせていただいたこともございました。

○事務局長（川崎和信）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　どんな反応だったのでしょうか。

○議長（横山博美議員）　事務局長。

○事務局長（川崎和信）　やはり勤務形態等、それぞれのご家庭の事情等もございまして、なかなか応じてはいただけない状況でございました。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　もう1つ、職種で言うと、介護職員のほうがかかなり足りてないようなんですけども、これは何でこういうことになっているんでしょうか。

○議長（横山博美議員）　管理次長。

○管理次長（湯浅孝雄）　介護職員の基準につきましては、国が定める指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準により、介護職員及び看護職員の総数は、入所者3人に対し職員を1人配置することとなっております。三山園では入所者120人おりますので、その3分の1、40人の介護に直接従事する職員を配置しております。その40人のうち、3分の2に当たる26人を常勤職員とし、14人を非常勤職員で対応する運営方針をとっております。

　　以上でございます。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　14人分は非常勤で対応する方針をとっているということなんですけれども、それはなぜそういう方針をとっているんでしょうか。

○議長（横山博美議員）　管理次長。

○管理次長（湯浅孝雄）　三山園建てかえ後、介護保険事業の中で運営することになりますので、やはり自立的運営を図っていくということが必要になってきます。そういうことから、効率的運営を図るために、介護に従事する職員の数の3分の1を非常勤として運営方針に決めました。

　　以上でございます。

○議長（横山博美議員）　中沢議員。

○4番（中沢学議員）　効率的運営を図るために14人を非常勤にしたという脈絡がよくわからないんですけども、それは正規にはできないんでしょうか。非常勤だと、やっぱり不安定な感じがして、きちんと常勤で雇用して長く勤めてもらうというふうにしたほうがいいんじゃないかなと思うんですけども、そこら辺

はどうなのでしょう。

○議長（横山博美議員） 管理次長。

○管理次長（湯浅孝雄） この問題につきましては、関係4市の事業運営協議会の中でも議論がなされました。そして、その経緯のもと、介護サービスの維持に支障が出ない範囲ということで3分の2を常勤とすることにいたしました。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢議員。

○4番（中沢学議員） 予算書の27ページのところに予備費というのがあるわけなんですけれども、ここで特別養護老人ホーム業務としての予備費もありまして、剰余金が330万程度出て3,475万円に、事実上、基金のような形で積み増しているのかなと思うんです。こういうものを職員の配置や安定的な確保の財源に充てたらどうかと思うんですけれども、どうなのでしょう。

○議長（横山博美議員） 事務局長。

○事務局長（川崎和信） 人件費に充てるということですが、これはあくまで単年度のお話ではなくなります。毎年昇給等もありますし、退職手当の対応も考慮するということになると、さらなる負担増になってくるということで関係市の皆さんの負担が多くなる。ということで、これをご理解いただくのは難しいものと考えております。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 他に質疑はありますか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終結します。

.....

○議長（横山博美議員） これより討論に入ります。

討論はありますか。

中沢議員。

○4番（中沢学議員） 特養ホーム、斎場とも、市民生活にとって不可欠な事業ですので、賛成いたします。

なお、三山園については、現状で看護師が1名不足して人材派遣で補っているということですが、不足している原因をよく把握して早急な解消を図っていただ

きたいと思います。それから、長く働きたいと思えるような職場、労働環境の改善にも取り組んでいただきたいと思います。加えて待遇の改善とか、各市との人事交流なども含めてご検討をお願いしたいと思います。

介護職員についても、14人分は非常勤職員で補っているということで、やはり安定的な雇用で安定的なサービス提供が行えるように、常勤職員への置きかえを図っていただきたいと思います。と要望させていただきます。

○議長（横山博美議員） 他に討論ありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） 討論なしと認めます。

よって、討論を終結します。

.....

○議長（横山博美議員） これより採決に入ります。

本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（横山博美議員） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

.....

○議長（横山博美議員） 日程第3、議案第2号平成23年度四市複合事務組合補正予算を議題とします。

〔議案第2号は巻末に掲載〕

○議長（横山博美議員） 提出者から提案説明を求めます。

事務局長。

○事務局長（川崎和信） それでは、議案第2号平成23年度四市複合事務組合補正予算につきましてご説明させていただきます。

補正予算書1ページをお開き願います。

平成23年度予算におきまして、歳入歳出それぞれ12億3,675万円のご承認をいただいておりますが、先ほど新年度予算の説明の中でも申し上げましたとおり、依然として第2斎場整備事業への建設予定地周辺の方々のご理解が得られていない状況下においては関係予算の一部執行を見合わせざるを得ないことから、当該予

算を減額補正するものでございます。

歳入歳出予算の補正は第1条のとおり、歳入歳出それぞれ6,215万円を減額し、歳入歳出予算の総額を11億7,460万円とするものでございます。

次に、債務負担行為の補正は第2条のとおり、予算の減額補正に伴い、本年度に設定した第2斎場環境影響評価調査業務委託料に係る債務負担行為を廃止するものでございます。

それでは、最初に歳入歳出予算の補正について詳細をご説明させていただきますので、歳入歳出予算事項別明細書の6ページをお開き願います。

まず歳出から、4款衛生費、1項斎場費、3目第2斎場整備費、13節委託料を6,215万円減額いたします。この内容は、埋蔵文化財の発掘調査や周辺環境影響評価の調査等に係る一般委託料でございます。

次に、5ページにお戻りいただきます。歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項負担金、2目衛生費負担金、節区分1、斎場費負担金を歳出と同額の6,215万円減額いたします。この内容は、歳出事業の財源となっております関係市からいただく分賦金でございます。

最後に、7ページをごらんください。債務負担行為につきましては、第2斎場環境影響評価調査業務委託料を、平成23年度から平成24年度の期間で750万円を限度として設定しておりましたが、今年度からの執行が難しいことから、平成23年度での設定を廃止するものでございます。

以上で平成23年度補正予算に関します説明を終わらせていただきます。何とぞご審議の上、ご協賛賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） これより質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） 質疑なしと認めます。
よって、質疑を終結します。

.....

○議長（横山博美議員） これより討論に入ります。
討論はありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） 討論なしと認めます。
よって、討論を終結します。

.....

○議長（横山博美議員） これより採決に入ります。
本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（横山博美議員） 起立全員であります。
よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

○議長（横山博美議員） 日程第4、議案第3号公平委員会委員選任の同意を求めることについてを議題とします。

〔議案第3号は巻末に掲載〕

○議長（横山博美議員） 職員に議案を朗読させます。

〔職員朗読〕

○議長（横山博美議員） お諮りします。
本案については、直ちに採決に入りたいと思います。
これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） ご異議なしと認めます。
よって、直ちに採決します。

本案に同意することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（横山博美議員） 起立多数であります。
よって、本案は同意することに決しました。

○議長（横山博美議員） 日程第6、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に池沢敏夫議員及び田中真太郎議員を指名します。

○議長（横山博美議員） 以上で、本定例会の会議に付された事件の審議はすべて終了しました。

○議長（横山博美議員） これをもちまして、平成24年四市複合事務組合議会第1回定例会を閉会します。

慎重審議大変ご苦労さまでした。

高橋 剛 弘

午後 2 時 43 分閉会

.....

[出席者]

◇出席議員 (10人)

| | |
|-----|---------|
| 議 長 | 横 山 博 美 |
| 副議長 | 田 中 真太郎 |
| 議 員 | 清 水 聖 士 |
| | 中 村 実 |
| | 中 沢 学 |
| | 川 井 洋 基 |
| | 池 沢 敏 夫 |
| | 海老原 高 義 |
| | 豊 田 俊 郎 |
| | 宮 本 泰 介 |

[欠席者]

◇欠席議員 (2人)

吉 野 良 一

◇説明のため出席した者

| | |
|-----------------|---------|
| 管 理 者 | 藤 代 孝 七 |
| 副 管 理 者 | 松 戸 徹 |
| 会 計 管 理 者 | 瀬 上 きよ子 |
| 事 務 局 長 | 川 崎 和 信 |
| 管 理 次 長 | 湯 浅 孝 雄 |
| 第 2 齋 場 整 備 室 長 | 吉 野 裕 重 |
| 三 山 園 長 | 滝 口 統 弘 |
| 齋 場 長 | 杉 山 肇 |
| 代 表 監 査 委 員 | 高 地 章 記 |